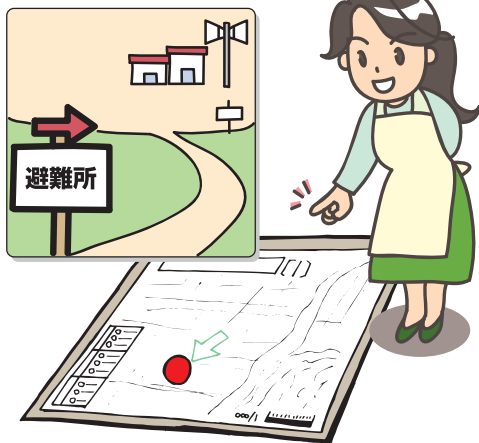


日ごろから土砂災害に対する心構えを持ちましょう

避難場所を確認しておきましょう

土砂災害はいつやってくるかわかりません。そこで、日ごろから家族で避難場所の確認をしておきましょう。避難するとき、もしはぐれてしまったら、どこで落ち合うか、また二番目、三番目に行く避難場所についても、あらかじめ決めておくようにしましょう。

わが家の安全な避難場所は？

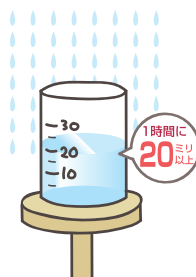


雨量に注意しましょう

土砂災害で最も注意しなくてはならないのは雨量です。雨の状況には、いつも注意するようにしてください。

1時間に20mm以上、または、降り始めてから100mm以上になったら、十分注意が必要です。また1時間20mm以上の雨は、いわゆる土砂降りです。傘をさしても濡れてしまいますし、車のワイパーを速くしても見づらくなります。

日ごろから雨の量に配慮するため、庭などに簡単な雨量計を設置するといでしょう。



まさかのとき、すぐに持ち出せるように

土砂災害が起きそうになったら、すぐに避難できるよう、日ごろから「非常持ち出し品」を用意しておきましょう。金銭などの貴重品だけでなく、ケガをしたときのこと、また避難所に長くいなければならないとなったときのことなども考慮して、持ち出し品の内容を考えてみましょう。



こんなときは十分注意してください



小石がバラバラと落ちてくる



斜面から水が噴き出す



地面にひび割れができる



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



川をゴロゴロと石が流れる音がする



川の流りが滞り流木が混じりはじめる



沢や井戸の水が濁る



木の裂ける音がする

避難する前には

- 気象情報を聞く。
- 火の始末をする。
- 動きやすい服装に。
- 懐中電灯、雨具などを持つ。
- 避難は早めに。

避難するときは

- 絶対に渓流を渡らない。
- 渓流と直角の方向に避難する。
- 危険な場所（ガケ崩れ、洪水など）は避ける。
- 誘導員の指示に従う。勝手な行動はしない。
- 複数で行動する。